

ご家族は大丈夫?

劣化した被せ物や詰め物はお口のトラブルの原因に!

お口の中の詰め物や被せ物は「どのくらいもつだろう?」と疑問に思う人も多いことでしょう。残念ながら詰め物や被せ物というのは、一生もの、というわけにはいきません。

保険で入れる詰め物や被せ物というのは、だいたい5年~8年くらいでダメになってしまうことが多いようです。ただし、これはあくまで平均年数ですので、もっと長く使っている人もいます。ですが、いずれにせよ、詰め物や被せ物の劣化というのは材質的に避けられないものです。

対策は?



お口のケアを毎日しっかり丁寧に行うこと。



歯科医院で定期的にチェックやケアを受けること。

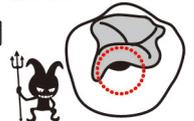


劣化や変色がほとんどなく丈夫なセラミック素材の被せ物や詰め物にする。

劣化した詰め物や被せ物の影響とは

◇むし歯(二次う蝕)の原因になる

劣化した詰め物や被せ物と歯の間にできた隙間がむし歯になる。



◇口臭の原因になる

劣化した詰め物や被せ物と歯との境目に細菌が繁殖して口臭の原因になります。また、歯科用プラスチックは吸水性があり、お口のニオイも吸着しやすいため、口臭の原因になります。



◇金属アレルギーの原因になる

金属は年数が経つと劣化・腐食して、金属イオンが唾液中に溶け出し、金属アレルギーを起こすことがあります。その影響は口の中だけにとどまらず、全身に皮膚炎などを起こすこともあります。



◇メタルタトゥーの原因になる

金属が腐食して唾液中に溶け出し歯茎を黒く着色させてしまう「メタルタトゥー」を起こしてしまうことがあり、見た目にも問題が出る場合があります。

きちんと歯みがきをしても、歯石は少しずつ蓄積していきます。

きちんと歯みがきをしても歯石は少しずつ蓄積して、むし歯や歯周病に影響します。特に歯周病が進行すると口臭や歯を失う原因になります。歯石の付きやすさには個人差がありますが、定期的に歯科医院で歯石をとりましょう。

